

新たなステージへ向けて

ここ数年、本白書で挙げたインターネット10大キーワードを見比べてみると、世相を反映して言葉が交代している。その一方で、毎年のように登場する常連の言葉がある。トップは「IoT」である。これに「サイバーセキュリティ」と「インターネットガバナンス」が続く。

10年ほど前であれば「すべてのモノがインターネットに繋がる」と唱えてみても、多くのユーザーにとっては夢物語のようなもので、コンピューター以外の機器がネットに繋がることは想像できなかった。それが今では「スマート○○」の名の下に新サービスが生まれ、これまでスタンドアロンで動いていた機器がインターネットにつながることは当たり前になった。

ただし、繋がるのが良いことばかりとは限らない。便利な反面で悪意のある攻撃にさらされる可能性も出てくる。スマートロック（スマートフォンアプリなどによる鍵の施錠）のシステムや、インターネットを通じて管理する病院やホテル向けの地下水処理システムに脆弱性が見つかったというニュースが報道されている。インターネットが通信のインフラとなって久しいが、さらにその他の分野の社会インフラを支える基盤ともなりつつある。したがって「サイバーセキュリティ」は毎年のキーワードに挙がる重要な話題である。これまで多くの事件が報道されたが、今後も重要性が上がることはあっても下がることはない。セキュリティ対策は地味な活動であるが、継続して常に対応できることが肝要である。

最後に重要なキーワードは「インターネットガバナンス」である。2014年3月に米国商務省電気通信情報局(NTIA)がIANA機能の監督権限を手放す意向を表明し、2016年10月によりやくコミュニティによる監督体制への移行が完了した。NTIAの声明から2年半が経過している。従来の経緯を辿ると1998年のICANN設立、その契機となった前年のグリーンペーパー、ホワイトペーパーに一連の源流がある。全体では約20年が経過してから当初の目指していたところに我々は辿り着いた。もちろん、これで終わりではない。この間に社会は大きく様変わりして、インターネットに期待するものが以前よりも多くなっている。我々はようやく5合目まで辿り着いたところである。多くの先達の思い描いた理想の通り、インターネットが世の中をより良くするためのものとなるように、我々は継続して取り組んでいく必要がある。

2017年1月

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

理事長 後藤 滋樹



1996, 1997, 1998, 1999, 2000...

[インターネット白書ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2017年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<https://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

✉ iwp-info@impress.co.jp